日本共産党　和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

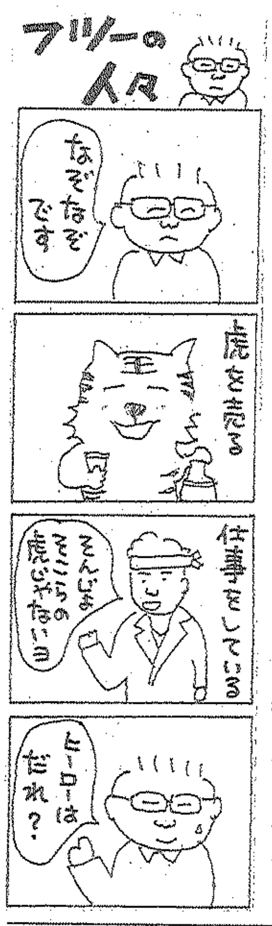
NO. 1371
'22. 1. 11

本年もどうぞよろしくお願いします。

日本共産党　和歌山市議会議員
ひめだ高宏ニュース
2022
謹賀新年号

新年あけましておめでとうございます

コロナ収束は、ほど遠く新型株もどうなるかわからないまま新しい年を迎えました。今年、日本共産党は創立100年です。創立当初の苦難に敢然と立ち向かった若い党員の志を引き継ぎ、次の100年をめざすためにも、海南市議選、参院選、市長選、知事選と続きますが、新しい出発の年となるようがんばります。



2021年市議会報告

毎議会、本会議で一般質問。

ひめだ高宏の質問事項

2月議会	3月2日（一般）
・中央卸売市場について ・スポーツ施設について	
6月議会	6月11日（一般）
・障害者福祉（グループホーム設置補助・各種事業の進め方	
9月議会	9月13日（一般）
・就労支援について ・期日前移動投票所の設置	
12月議会	12月6日（一般）
・障害者福祉（65歳問題） ・遊休市有地の有効活用について	

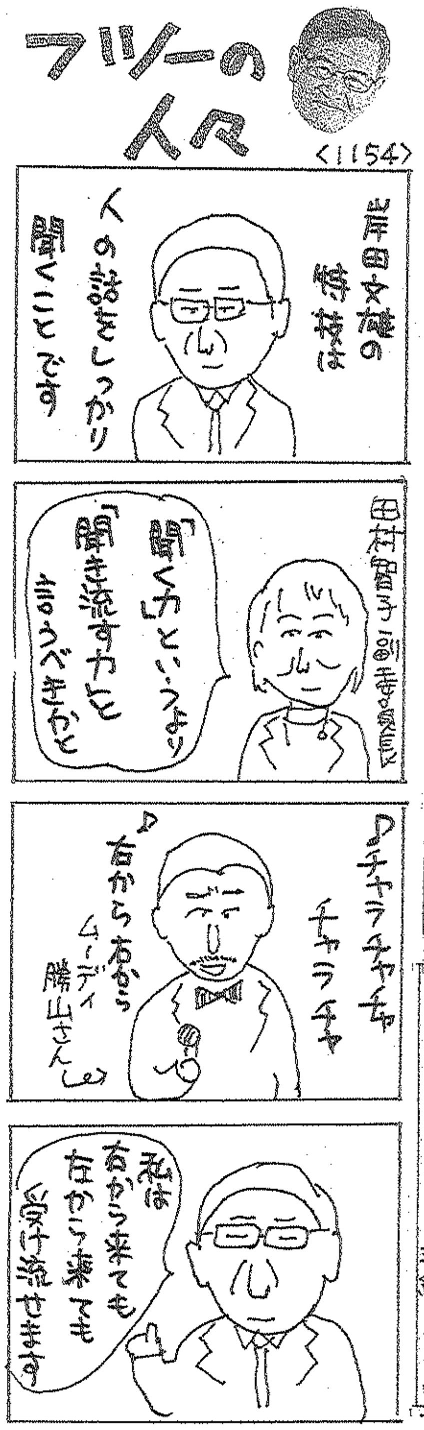
東京・葛飾へ訪問

昨年の3月23日〜4月1日まで都議選の応援で東京・葛飾区の木村ひでこ区議の担当地域のみなさんとハンドマイク宣伝や訪問で交流。

ひめだが選んだ2021 7大ニュース

①風もない日に六十谷水管橋が突然崩落。紀の川以北が断水になる
②野党共闘は進むも衆院選挙で日本共産党は2議席後退
③コロナワクチン2回接種
④県のIR（カジノ）整備計画が大幅に遅れ、市の特別委員会開かれず
⑤カジノ誘致の是非を問う和歌山市民の会が住民投票条例を求める署名を2万8833筆集める
⑥「和歌山城ホール」完成。演鑑12月例会「左の腕」公演。座席せまっ
⑦赤旗日曜版オリコミの「ひめだニュース」1370号、連載の4コマ「フツーの人々」1153回に

〒641-0054
和歌山市塩屋5丁目6-12
ひめだ高宏（姫田高宏）
080-1415-3951
ショートメールでご連絡ください。



新しい年になりました

2022年が始まり、年頭から新型コロナ感染数が広がっています。これまでも取り組んできたマスクや手指の消毒、3密を避けるなど新しい生活を続けるとともに3回目のワクチン接種なども進め、1日も早い終息を願うばかりです。よく食べ、よく寝て元気に1年過ごしましょう。今年もよろしくお願いします。

今週のフツーの人々（その317）

首相の「聞き流す力」

吉本興業のムーディ勝山という芸人さんの「右から来たものを左へ受け流すの歌」は2007年に作られて大当たり。白いスーツに蝶ネクタイ、長身で口ヒゲの歌う姿が大はやりでした。

3日付けの赤旗新聞に日本共産党の田村智子副委員長がネット番組で岸田首相の「聞く力」について問われ、代表質問でコロナで困っている人への給付金について、制度にもれる人が大勢いるはずだと質したものの、首相は質問を"スルー"しただけだったと指摘し、「聞く力」というよりは、「聞き流す力」だと批判したとの記事が載りました。この記事を読んだときに私には、あの歌が流れてきたのです。ただ、ムーディさんと違って岸田首相は右から来たものだけではなく、左から来たものも聞き流せるようです?!

ひめだ高宏

大門みきし参院議員（近畿担当）

新年のあいさつ（日刊赤旗1月5日号より）

☆上手な絵にびっくりしました。

こんにちは 日本共産党です

2022年こうたたかう

日本共産党の志位和夫委員長は9日、NHK日曜討論の内政・外交について「党首に問う」に答え新型コロナについては、ワクチンと検査・医療・保健所体制の強化、米軍の入国停止・基地外出禁止と生活困窮者や事業者への支援の抜本的拡充を求めました。経済政策について、岸田総理が掲げる「新しい資本主義」は従来の破たんした新自由主義だと批判。新自由主義から転換し、やさしく強い経済をつくろうと呼びかけました。

志位委員長は、外交安全保障について、中国の覇権主義の行動について、国連憲章と国際法に基づく冷静な外交的批判が大事だと指摘し軍事的対応でなく平和外交を進めるべきだと主張。また、日本に戦火を呼び込む敵基地攻撃能力の危険性を指摘し、反対を表明。

断水による「助成」で申し入れ

12月16日（木）日本共産党市会議員団は、市長と公営企業管理者に「六十谷水管橋破損に伴う「助成金」に対する緊急申し入れ書」を提出しました。これは、六十谷水管橋崩落による断水により売り上げの減少や食材の廃棄が発生した事業者への「助成」に関して、民主商工会からの要望に基づくもので、その内容は次のとおりです。

1. 年末年始の繁忙期であり、税の申告準備時期でもあることから申請期間の延長をしていただきたい。
2. 申請書類及び提出書類の簡素化を行っていただきたい。
3. 税の計算や市が用意できる書類などによるサポート体制・相談体制を作っていただきたい。
4. 助成金（補償金）申請の周知徹底のため、各地域で説明会を開催していただきたい。
5. 上記1～3に対して文書での回答が困難できた段階で事業者（民主商工会）同席の懇談会を開き、回答について説明を行っていただきたい。

以上

寺下 弘さんのこと

12月21日、日本共産党宮前後援会の寺下弘さんがてくなったと竹田俗援会長から聞きました。寺下さんは、私、ひめだが初めて立候補したときから、一緒に地域を連れて回ってくれるなど、選挙のたびにお世話になりました。演説会や学習会など後援会行事にも熱心に参加してくれました。ありがとうございました。